京　都　大　学
医療技術短期大学部紀要

第4号　　1984年

目　　次

原　著

濱　弘道，山室　隆夫，西島　直城，長嶋　哲夫，鈴木　聡，長谷川良一，村瀬　徹哉：尺骨神経麻痺を伴う変形性肘関節症に対する Outerbridge-柏木法と King-Morgan 変法の併用手術と ADL からみたその有用性 …… 1

濱　弘道，武田　功，黒木　裕士，角南　昌三，星野　一正，伊藤　一忠，山室　隆夫：肩甲上神経の解剖学的研究．1：肉眼解剖学的検索 …… 8

池本　正生，田畑　勝好：固定化ウリカーゼを利用した血清尿酸の自動螢光測定法 …… 15

黒木　裕士，谷岡　淳，赤松　郁夫：脳卒中片麻痺患者の歩行時酸素摂取量 …… 26

菅沼美奈子，三井　政子，神崎　秀陽，藤田　峯子，高見　淳子，山下　浩子，家森百合子，神田　豊子，弓削マリ子，鈴木　順子：脳性運動障害危険児に関する周産期情報の検討 …… 30

武田　功：京都府下におけるリハビリテーションの現状 …… 42

尾坂　良子，高桑　明子，長谷川悦子，山崎　尚美，中井　栄一：ある集団における人々のらいに対する考え方と態度 …… 49

近田　敬子：実践から実習過程の構成を探る――子供との関係成立に向けて―― …… 57

白石　裕：経済的差別と教育の機会均等――判例にみるアメリカの教育(2)―― …… 69

加茂　映子：「オリオン座」を読む――自己探求の旅―― …… 80

投稿規定 …… 90

編集後記

京大医短部紀要

ISSN
0286 - 7850

投　稿　規　定（昭和58年10月19日改定）

投　　稿：投稿論文は，総説，原著，短報などとし，本短期大学部教職員（元教職員を含む）が著者，または共著者であるものに限る。

論文の受付：原稿（表紙，本文，図，表など）はコピー2部を添え(計3部)，当該年度の6月30日までに，編集委員会に届ける。編集委員会に届けられた日をもって受付日とする。編集委員会は，割付けおよび全体としての統一などをはかるために，著者に対し表現方法その他の変更，削除などを求めることがある。

原稿の書き方：原稿は，次の規定に従って書かれたものであること。

1. 表紙（原稿第一枚目）の前半には表題，著者名，所属およびその所在地，ランニング・タイトルをこの順に従って書く。なお，外国語原稿の場合は，上記各項の日本語を併記する。

   後半には原稿の枚数，図，表の数，別刷希望部数を書く。著者の所属の表記は，筆頭者は無記号，共著者の所属が異なる場合はその著者名の右肩およびその所属名の冒頭に*, **……印をつける。

2. 原稿には，英文の表題，著者名，所属，抄録（20行，または200 words 程度）および Key words（8語以内）をつける。著者名の姓は，大文字で表記する。

3. 欧文原稿および英文抄録は，必ずダブル・スペースでタイプする。また，当該国人が読んで，正確，明快に理解できるものでなければならない。

   和文原稿は原則として，常用漢字，ひらがな，現代かなづかいを用い，B5版の400字詰横書き（論文の内容上とくに必要な場合は縦書き）原稿用紙に清書する。外国語固有名詞（人名など）は原語を，一般に日本語化された外国語は，片かなを用いる。度量衡は，CGS 単位とする。

4. 論文の項目の区分は，原則として下記の例に従う。

   大項目……無記号で下線をつけ，前を一行あける。原著論文の緒言 (INTRODUCTION)，材料 (MATERIALS)，方法 (METHODS)，結果 (RESULTS)，考察 (DISCUSSION) などが相当する。

   小項目……以下の順で使用する。

   1.，2.……行の第1字目に記す。

   1)，2)……行の第2字目に記す。

   a.，b.……行の第2字目に記す。

   a)，b)……行の第3字目に記す。

5. 図 (Figure) および表 (Table) には，それぞれ別の通し番号をつける。図版 (Plate) や写真（原則として白黒）は，図として取り扱う。

   図はなるべく原寸大とし，明瞭でそのまま印刷できるものとする。図版は (14×20 cm) 以内にまとめる。図は台紙 (20×26 cm 以下）に貼り，さらに薄紙のカバーをつける。カバーには筆頭者名，ランニング・タイトル，図の通し番号を記入する。

   図，表の説明文は，まとめて原稿の末尾につけ，原稿本文中の欄外余白部に，図，表の挿入位置を朱記し明示する。

6. 謝辞は，本文の末尾に入れる。

7. 文献は，下記の要領に従い，引用順に配列し，本文の末尾に一括記載する。外国語文献は必ずタイプする。

   本文中の文献引用箇所には著者名や引用文などの右肩に，その文献番号を[1]，[1,3,6]，[2-5] のように記す。

   雑誌の場合

   全著者名，表題，掲載誌名，巻数（必要であれば号数)，頁数（頁-頁)，発行年（西暦）の順に記す。雑誌略名は，日本医学雑誌略名表（日本医学図書館協会編）および Index Medicus に従う。

〔例〕

1) Sakaguchi, K. & Jameson, E.W.: Two new fleas from Japan. J. Med. Zool. 10: 156-162, 1959.
2) 菅沼美奈子，内山和美，三井政子：性周期記録表の試み．母性衛生 19(1): 76-82, 1978.

単行本の場合

著者名，（表題），書名（版数）．（編者名），引用頁（頁-頁）または（総頁数），発行所，発行地，発行年（西暦）の順に記す。

〔例〕

1) Wintrobe, M.M.: The erthrocyte. In Clinical Hematology, 7th ed., p. 80-220, Lea and Febiger, Philadelphia, 1974.
2) Schwartz, T.W. & Tager, H.S.: Biosynthesis of pancreatic polypeptide. In Gut Hormones, 2nd ed., ed. Bloom, S.R. & Polak, J.M., p. 202-205, Churchill Livingstone, Edinburgh, London, Melbourne, New York, 1981.
3) Hodgkin, A.L.: The Conduction of the Nervous Impulse. 108 P., Liverpool Univ. Press, Liverpool, 1964.
4) 冨田　仁：救急時検査の手技と解釈，アミラーゼ．「検査診断マニュアル（第1版）」冨田　仁，熊谷直家，内田耕太郎編，p. 96-99, メヂカルフレンド社，東京，1978.
5) 城戸幡太郎：文化心理学の探究．390 P., 国土社，東京，1970.

原稿の枚数：原著論文，総説は，原則として図，表などを含め刷り上り10頁以内，短報などは同じく4頁以内とする。なお，本誌1頁は，400字詰原稿用紙約4枚分に相当する。図は，手札大（9×13 cm）が原稿用紙約2枚分に相当する。

校　　正：著者による校正は，再校までとし，校正時における内容の変更や追加は認めない。

印 刷 費：原図の描画を外部に依頼するときや，カラー写真印刷を希望するときなどは，その経費は著者の負担とする。

別　　刷：別刷は50部単位で注文し，その経費は著者の負担とする。

編 集 後 記

紀要第４号をお届けします。

医療技術短期大学部は早くも創立10年目を迎え，新設の理学療法・作業療法両学科も，来春，第１回卒業生を送り出すまでに成長発展して参りました。現在，教官総数は創立時の13名から52名に達しており，短期大学部の学術研究機関誌として創刊された本誌にとりましても，教官投稿有資格者の増加は誠に心強い限りです。

本号は，広い領域にわたって10篇の論文を掲載しました。なお，時間の制約上数篇の論文を割愛せざるを得なかったことを残念に思います。教官各位の御協力によってかねての念願であった年内発行も実現することができました。次号も一層優れた多数の論文の御投稿を期待しております。

昭和59年10月１日

紀要編集委員長　小西　昭
紀要編集委員　藤原哲司　福崎　哲
加茂映子　木村信子
岸下雅通　松永正人
三好暁光　野村　嶬
大橋ミツ　齋明寺　央
菅沼美奈子　（ＡＢＣ順）

京都大学医療技術短期大学部紀要　第４号

Annual Reports of the College of Medical Technology, Kyoto University No. 4

昭和59年12月25日　印刷・発行

印　刷　中西印刷株式会社
京都市上京区下立売通小川東入る

発　行　京都大学医療技術短期大学部
京都市左京区聖護院川原町53

ANNUAL REPORTS
OF
THE COLLEGE OF MEDICAL TECHNOLOGY,
KYOTO UNIVERSITY

No. 4 **1984**

CONTENTS

Originals

Hama, H., Yamamuro, T., Nishijima, N., Nagashima, T., Suzuki, S., Hasegawa, R. and Murase, T.: The Combination of Outerbridge-Kashiwagi's and Modified King-Morgan's Methods for the Surgical Treatment of Osteoarthritis of the Elbow Followed by Ulnar Palsy 1

Hama, H., Takeda, I., Kuroki, H., Sunami, M., Hoshino, K., Ito, K. and Yamamuro, T.: Anatomical Studies on the Suprascapular Nerve. 1: Findings in Gross Anatomy 8

Ikemoto, M. and Tabata, M.: Fluorometric Determination of Serum Uric Acid Using Immobilized Uricase 15

Kuroki, H., Tanioka, J. and Akamatsu, I.: Oxygen Uptake of Hemiparetic Patients during Walking 26

Suganuma, M., Mitsui, M., Kanzaki, H., Fujita, M., Takami, J., Yamashita, H., Yamori, Y., Kanda, T., Yuge, M. and Suzuki, J.: Analysis of Perinatal Data on Children with Risk of Cerebral Motor Disturbance 30

Takeda, I.: The Present State of Rehabilitation in Kyoto Prefecture 42

Osaka, R., Takakuwa, A., Hasegawa, E., Yamazaki, N. and Nakai, E.: The Conception and Attitude of the People in Some Limited Groups to Leprosy 49

Chikata, K.: An Exploration of the Structure of the Learning Process—Interpersonal Relationships Between Children and Students of Nursing— 57

Shiraishi, Y.: Wealth Discrimination and Equal Opportunity of Education —American Education in Legal Cases (2)— 69

Kamo, E.: A Reading of "Orion"—Seeking What I am— 80

Instructions to Authors 90

Editorial Notes

Ann. Rep.
Col. Med. Tech.,
Kyoto Univ.

ISSN
0286 - 7850